

令和7年度 医療依存度の高い患者の在宅療養に関わる看護職支援事業 対面型研修 プログラム

研修名	研修目的	研修目標	研修方法	研修日時 必要時間	研修場所 (定員数)	担当者
1. ストーマ患者のケア	*対象者：オンデマンド配信「Ⅲ-3. ストーマ患者のケア」の動画を事前に視聴可能な方（事前の視聴は推奨です） *人数に限られるため、1施設1人以内での応募をお願いします		講義 演習	10月17日（金） 14：00～16：30 約150分	東病棟12階 セミナー室2 ↓ 多目的ホール (定員10名)	増田 未散
	ストーマ（人工肛門・人工膀胱）管理の基本的なケア方法が分かる	① ストーマケアの基本が分かる ② 管理困難なストーマケアのポイントがわかる				
2. 在宅での褥瘡ケア （事例検討）	*対象者：在宅での予防的スキンケアや処置方法などについて学びたい方、褥瘡ケアに関してお困りの事例がある方		講義 グループワーク	10月27日（月） 14：00～16：00 約120分	東病棟12階 多目的ホール (定員8名)	原野 寿子
	高齢者の褥瘡に対する基礎的な知識やケアを学ぶ	①褥瘡発生のリスク評価と予防 ②褥瘡の分類と創面評価 ③困難事例を検討				
3. 人工呼吸器の仕組みとフィジカルアセスメント	*対象者：聴診器を持参可能な方		講義 演習	10月28日（火） 10：00～12：00 約120分 休憩含む	中央診療棟7階 総合臨床研修センター カンファレンス室 演習室 (定員8名)	片岡 早希子
	人工呼吸器管理の基本的な仕組みとフィジカルアセスメントを学ぶ	①陽圧管理と自然呼吸の違いを理解し、必要な知識を習得する ②人工呼吸器管理中の患者の意識・呼吸・循環について理解できる ③人工呼吸器管理中の患者の意識・呼吸・循環の情報を収集しアセスメントすることができる				
4. 摂食嚥下スクリーニングと食事介助方法の検討	*対象者：オンデマンド配信「Ⅲ-1. 摂食嚥下機能の基本的なメカニズムと食事支援」の動画を視聴可能な方（推奨です）		講義 演習	10月28日（火） 13：00～15：00 約120分	中央診療棟7階 演習室 (定員10名)	稲本 知代
	嚥下スクリーニングを行い、食事介助（食事形態とポジショニング）の方法を検討できる	①嚥下スクリーニング方法を理解し実践できる ②スクリーニングの結果から食事形態とポジショニングを検討できる。				
5. 家族ケアに活かすアセスメント （事例検討）	*対象者：家族ケアに関してお困りの事例がある方、アセスメント方法について学びたい方 オンデマンド配信「Ⅲ-5. 家族アセスメント」の動画を視聴可能な方（事前の視聴は推奨です）		講義 グループワーク	11月11日（火） 13：30～15：00 約90分	東病棟12階 セミナー室2 (定員15名)	江田 由美子 市川 麻紀 荻堂 盛大
	家族ケアにおける困難事例を共有し、介入方法を検討することができる	①家族アセスメントに必要な情報を理解することができる ②困難事例の問題点を整理し共有することができる ③困難事例への家族ケアを検討できる				
6-1. 感染対策の基礎	*対象者：対面型研修「6-1. 感染対策の基礎」「6-2. 感染対策の応用」を通して受講可能な方		講義	11月14日（金）	東病棟12階 セミナー室2 (定員20名)	藤本 陽子 手塚 美奈 吉田 真由美
a. 標準予防策	標準予防策が理解できる	①標準予防策の項目を知ることができる ②標準予防策を実践できる		9：15～9：35 約20分		
b. 手指衛生	手指衛生の必要性、タイミング、正しい方法が理解できる	①感染対策の基本である手指衛生を学ぶことができる ②正しい技術を習得できる		9：35～9：55 約20分		
c. 感染経路別予防策	感染経路別予防策が理解できる	①3つの感染経路別予防策（接触・飛沫・空気）の違いがわかる ②上記に必要な个人防护具を選択できる		9：55～10：25 約30分		
6-2. 感染対策の応用			演習	11月14日（金）	東病棟12階 セミナー室2 (定員20名)	藤本 陽子 手塚 美奈 吉田 真由美
a. 手指衛生と个人防护具の演習	適切な手指衛生、状況に応じた个人防护具の選択及び患者にも自身にも安全な着脱方法が理解できる	①正しい手指衛生を実践できる ②必要な个人防护具の選択ができ、正しい着脱方法が実践できる		10：35～11：05 約30分		
b. 事例検討	自施設でできるベストな感染対策がわかる	事例・グループワークを通じて必要な感染対策を考えることができる		11：10～12：00 約50分		
7. がん性疼痛における医療用麻薬の管理 （皮下注射の穿刺、PCAポンプの操作を含む）	*対象者：オンデマンド配信「Ⅱ-2-d. がん性疼痛のケア」「Ⅱ-2-e. がん性疼痛における医療用麻薬の管理」の動画を視聴可能な方（事前の視聴は推奨です）		講義 演習	11月14日（金） 14：30～16：30 約120分	中央診療棟7階 総合臨床研修センター カンファレンス室 演習室 (定員15名)	前田 望花 坂口 まみ
	がん患者の身体症状をアセスメントし、症状緩和のための治療やケアを理解し実践に活かす	①医療用麻薬の適切な使用・管理方法について理解し、実践につなげることができる ②皮下注射の安全な穿刺について理解し、実践につなげることができる ③PCAポンプの操作について理解し、実践につなげることができる				
8. 慢性疾患を抱える患者への精神的支援 （事例検討）	*対象者：慢性疾患（慢性心不全・慢性腎不全・糖尿病など）患者への精神的支援についてお困りの事例がある方。対応について検討したい方		講義 グループワーク	11月25日（火） 13：30～15：00 約90分	東病棟12階 多目的ホール (定員15名)	荻堂 盛大 江田 由美子
	慢性疾患患者の精神状態を理解し、支援方法を検討することができる	①慢性疾患患者の精神症状（抑うつや不安など）について理解する ②慢性疾患患者の精神症状への対応を検討することができる				